

産業環境委員会陳情説明資料

令和5年9月27日

件名	頁
1 受理番号33 省エネリフォーム補助金（トイレ助成）復活を求める陳情	2

(環境部)

件名	受理番号 33 省エネルギーフォーム補助金（トイレ助成）復活を求める陳情																		
所管部課名	環境部環境政策課 都市建設部建築室建築防災課																		
陳情の要旨	省エネルギーフォーム補助金の工事種目から除外になった節水型トイレ補助制度を復活させることを求める。																		
陳情者等	請願文書表のとおり																		
内容及び経過	<p>1 令和3年度を持って廃止した節水型トイレ設置費補助金の概要</p> <p>(1) 目的 節水効果の拡大及び節水意識を高め、低酸素社会構築に向けた環境にやさしいまちづくりに寄与する。</p> <p>(2) 実施期間 平成30年度 省エネルギーフォーム補助金の種別の一つとして開始 令和2年度 節水型トイレ設置費補助金として独立 令和3年度 事業終了</p> <p>(3) 事業概要（令和3年度実施概要）</p> <p>ア 対象機器 新品の節水型トイレ（洗浄水量が5.0ℓ以下のトイレ）</p> <p>イ 補助金額 補助対象経費の3分の1（1,000円未満切捨て） 上限額3万円</p> <p>ウ 対象者 区内の自ら居住する既存の住宅に節水型トイレの設置工事を実施した個人</p> <p>エ 申請方法 補助対象工事の着工予定日の前日までに、申請書一式を郵送または窓口にて提出</p> <p>(4) 事業実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成30年度</th> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助件数 (件)</td> <td>96</td> <td>87</td> <td>160</td> <td>178</td> </tr> <tr> <td>補助合計額 (円)</td> <td>4,391,000</td> <td>4,143,000</td> <td>4,773,000</td> <td>5,289,000</td> </tr> </tbody> </table>					平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	補助件数 (件)	96	87	160	178	補助合計額 (円)	4,391,000	4,143,000	4,773,000	5,289,000
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度															
補助件数 (件)	96	87	160	178															
補助合計額 (円)	4,391,000	4,143,000	4,773,000	5,289,000															

(5) 廃止理由

市販されているトイレが概ね洗浄水量5L以下となっており、補助金交付により買換えを促す必要性が低くなったため。

(6) その他

本補助金は、洋式トイレの交換のみを対象としており、和式トイレの洋式化における助成は、建築防災課の住宅改良助成で現在も実施している（8万円/箇所、据え置き型の場合は2万円/箇所）。

2 国の節水型トイレの補助制度

(1) こどもエコすまい支援事業

対象者	対象工事	補助上限額
子育て世帯・若者世帯等	リフォームに伴う工事	節水型トイレ 20,000円/台
		それ以外のトイレ 10,000円/台

(2) 長期優良住宅化リフォーム推進事業

対象者	補助上限額
戸建住宅 共同住宅	87,000円（一箇所のみ補助対象）

※ 工事後に耐震性・劣化対策・省エネルギー性に対して一定の基準をクリアしていることが条件となるため、トイレの交換だけのリフォームでは使用できない。

3 他区の補助制度

区名	名称	対象者	補助額	補助上限額
品川区	住宅改善工事助成 （工事内容の内、 節水型便器設置）	① 区民	工事費用全体の10%	区民
		② 賃貸住宅個人オーナー		20万円
		③ 管理組合		区民以外 10万円

※ その他、目黒区や渋谷区など、住宅のリフォームにおけるトイレ器具の交換代を対象工事として位置付けている補助制度あり。

4 トイレの節水化

国内トイレの主要メーカーである「TOTO」、「LIXIL」、「Panasonic」の3社における、1回あたりの洗浄水量の推移は以下のとおりである。

(1) TOTOの節水便器

1994～1999年	10L
1999～2006年	8L
2006～2009年	6L
2009～2012年	4.8L
2012年～	3.8L

(2) LIXIL (INAX) の節水便器

1998～2001年	10L
2001～2006年	8L
2006～2009年	6L
2009年～	4L

(3) Panasonicの節水便器

2014年～	4.8L
--------	------

※ 各製品の節水率は、各社ホームページより引用。

※ 上記3社が現在販売している製品は、全て5L以下のものとなっている。